

⑧仕様

型 式	SPC-7
電 源	AC100V 50/60Hz
使用空気圧	0.88MPa(9kgf/cm ²)
寸 法	230mm×475mm×255mm
重 量	約 7.5kg
付 属 品	コンパウンド 1袋 (500g) プラグ収納ケース 1ヶ プラグアダプター 10mm、12mm 各2ヶ ※清掃用コンパウンド 2kg 入り徳用箱を用意 してあります。(別途購入品)

※本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

⑨故障・修理依頼・サービス

この製品に関してご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店もしくは当社までご相談ください。

販売店

嵯峨電機工業株式会社 技術部
〒145-0076 東京都大田区田園調布南 10-5
TEL 03 (3758) 8691
FAX 03 (3759) 8263

saga

保存用

スパークプラグクリーナテスト取扱説明書

『SPC-7』

この度はスパークプラグクリーナテストをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。
お求めの製品を正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。
尚、この取扱説明書は、いつでも見ることのできる場所に大切に保管してください。

①取扱上のご注意



注意

1. 警告ラベルは大切に使用し、むやみに剥がしたりしないでください。
2. 警告ラベルが剥がれたり、汚損した場合にはお買い求めの販売店から購入して正しい位置に添付してください。
3. プラグの清掃作業は必ず付属の防護カバーを正規の位置に取り付けてから行ってください。
4. AIR 押しボタン及び BLAST 押しボタンは、ゴムアダプターにプラグを取り付けていない時には、絶対に押さないで下さい。清掃用コンパウンド（砂）が噴出し大変危険です。
5. ご使用時には必ず防護めがね等を着用してください。
6. 保守点検の時及びご使用にならないときは、必ず圧縮空気の供給を止めて、本体よりエアーホースを外してください。
7. 本体を分解しないでください、感電する恐れがあり大変危険です。
8. テスト押しボタンを押している間は、高圧コード及びプラグに触れないようにしてください。感電する恐れがあり大変危険です。
9. 異常と思われる箇所があるときには、直ちに製品の使用を中止して、お買い求めの販売店に連絡してください。そのまま使用すると製品の破損及び重大な事故につながる恐れがあります。

②製品概要

本機は圧縮空気と 100V 電源を用い、スパークプラグの清掃・テストを極めて簡単迅速に行うものです。良否の判定は比較試験により正確に行うことが出来ます。

③特徴

- 1) 標準プラグとの比較試験方式ですので实际的で確実です。
- 1) ペンチュリー型特殊ノズルの採用により清掃効率が極めて良く、ノズルに磨耗部分がないので、ノズル交換の必要がありません。
- 2) 砂袋は二重構造で、カーボンや粉状の砂は外側の袋に出され、いつも理想的はブラッシングができます。

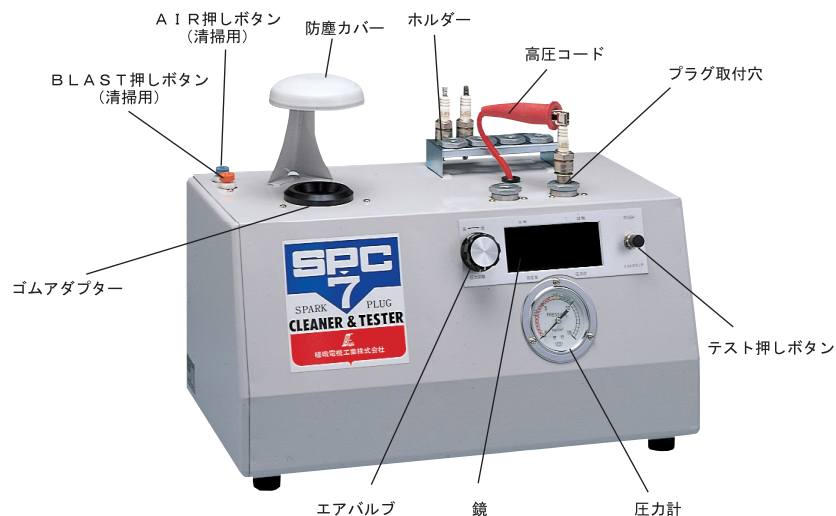
④組立準備作業

- 1) 防護カバーを図のように取り付けてください。
- 2) AIR 押しボタンの裏側にエアホースを接続します。
- 3) ゴムアダプターの穴からコンパウンド（砂）を一袋の約半分（200 ～ 300 g）入れてください。

（一袋で 300 ～ 500 本の清掃ができます）

注）規定のコンパウンド以外は使用しないで下さい。

注）コンパウンドは極端に増減しないで下さい。



⑤スパークプラグの清掃方法

- 1) プラグをゴムアダプターの穴に差し込みます。
- 2) BLAST 押しボタンを約 3 秒間押すとサンドブラッシングされます。
- 3) AIR 押しボタンを約 1 秒間押すとエアで清掃されます。

・図のようにプラグを回しながら 2)、3) の手順を行うと早く良く清掃できます。



注）BLAST 押しボタンは長時間押さないで下さい。（プラグを必要以上に磨耗させます）

注）プラグを外してあるときは BLAST ボタンを押さないで下さい。

⑥火花試験の方法

- 1) プラグのキャップを規定どおりに調整してプラグ取付穴に取付けてください。
- 2) テストしようとするプラグと同型の良品プラグをもう一方に取付けます。
（両方とも、径に合ったガスケットとアダプタを使用して固定してください。）
- 3) エアバルブを開いて 0.7MPa（7kg/cm²）以上の圧力を掛けます。
注）このバルブを開くとき、空気はバルブノブ軸の周りから逃げます。これはゲージ圧力のバランスのためと、空気室内のエアのイオン化を防ぐための機構で故障ではありません。
- 4) 高圧コードをプラグにつなぎテスト押しボタンを押すと、鏡にスパークの状態が映ります。同一条件の下で新品のプラグをスパークさせ、交互に比較してください。
（空気圧は任意に増減して支障はありません。）

判定

新品又は良好なプラグは、普通約 0.6MPa（6kg/cm²）以上の空気圧で確実に点火します。

⑦保守点検

製品を安全に使用していただくために、定期的に保守点検を行ってください。

- ・AIR、BLAST の各押ボタンが正常に作動しているか。
- ・ゴムアダプターに磨耗、キズ、ひび割れ、変形はないか。

砂袋の保守

- 1) 砂袋は二重のフィルター袋になっており、内側に清掃用コンパウンドが入っています。除去されたプラグのカーボン、細くなった砂等は、目の粗いフィルターを通して外側の袋の底に貯まります。
- 2) プラグの清掃の際、清掃効率が悪くなったときは、細かい塵埃によってフィルターが目詰まりを起こしていることが考えられますので、外側のチャックを開いて清掃してください。
- 3) プラグにコンパウンドが付着するときは、エアに過度の水分が含まれていることが考えられますので、コンプレッサのドレンコックを開けて水抜きをし、クリーナーの内側のフィルター袋を清掃してコンパウンドを入れかえて下さい。
- 4) コンパウンドの補充はゴムアダプターの穴からして下さい。完全に空の場合でも 350g 以上入れないで下さい。コンパウンドが多すぎると清掃効率が悪くなります。